

新型コロナウイルス感染症拡大により、選手強化活動については大きな制約が生じたところである。これに対応した経験を踏まえ、スポーツ医・科学的なアプローチに基づいた競技特性に対応した最適なコンディショニングの研究、デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進による先端技術を活用した多様な支援手法の研究、並びに競技用具等の研究等により、様々な制約を受ける状況であっても、継続的な強化活動が行われるレジリエント(強靱)なシステムを構築する。

## 強化活動の継続が困難となる事態

感染症等の拡大に伴う、外出自粛期間の長期化による、パフォーマンスの低下

トップアスリートの支援を行うトレーニング施設(HPSC等)の閉鎖



## ポストコロナ時代の支援手法の確立

競技特性に対応した最適なコンディショニングの開発

デジタル技術等の先端技術を活用したアスリートへの支援

## 競技用具等の研究

トップアスリートのメダル獲得優位性を確実に向上させるため、オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめとした国際大会で使用される競技用具等の研究を、競技団体や企業、大学・研究機関等と連携を図りながら実施。

## 最適なコンディショニングの研究

長期離脱(ディトレーニング)後の競技活動再開(リトレーニング)及び近年のコンディショニングに関する課題について研究を実施し、競技特性に対応した最適なコンディショニングを策定。

メンタルトレーニングに関する諸外国の先進事例の調査や、普及啓発を実施。

## デジタル技術等を活用した支援手法の研究

デジタルトランスフォーメーション(DX)の本格的な推進によるVRやARを始めとした先端技術を活用した多様な支援手法の研究を実施。

さらに、HPSCが有する様々なデータやシステム等のリソースの活用を通じた支援手法を研究するほか、バーチャルスポーツに関する調査研究を実施。

有機的に連携

HPSCを中心として、継続的に選手強化が行える、レジリエントなシステムを構築